

児童図書研究室ニュース

2008. 4. 20

福島県立図書館

<http://www.library.fks.ed.jp>

No. 67

子どもの読書週間4月23日～5月12日

4月23日(水)の子ども読書の日から5月12日(月)までの3週間は子どもの読書週間です。2125点の応募の中から選ばれた今年の標語は「ここにちは、新しい本。」です。子どもの読書週間を主催している社団法人読書推進運動協議会のHP(<http://www.dokusyo.or.jp/>)には受賞者の沼田真希さん(兵庫県)の受賞のことばが次のように掲載されています。

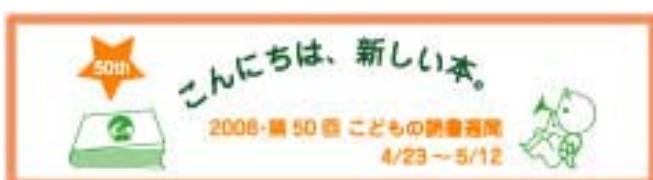
「『新しい本との出会いは新しい人との出会いと同じ』そんなイメージで浮かんだ標語です。自分自身が子供の頃にあまり本を読まなかった後悔があるので、是非自ら挨拶をするように積極的に本と出会っていって欲しいです。」

子どもの読書週間にあわせて今年も全国各地で様々なイベントが開催される予定です(詳しくは子ども活動推HPをご参照ください。)。

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/index.htm 福島県立図書館では、



1. ミニ展示「石井桃子の世界～石井桃子の足跡をたどる～」
2. 読書記録ノート「ぶっくろーど」の配布(4月23日～)
3. はるのおはなしがい(5月11日(日)14:30～)を行います。ご来館をお待ちしております。



第4回 読み聞かせボランティア大賞募集！

読み聞かせ活動の資質の向上と、中・高生への読み聞かせ活動の普及・拡大を目的として、読書コミュニティーネットワークが「読み聞かせボランティア大賞」を募集します。

ふるってご応募ください。

対象:一般の部(専門学校・短大・大学を含む)、

学生の部(小学生・中学生・高校生)

応募受付期間:2008年4月21日(月)～6月30日(月)

詳しくは読書コミュニティーネットワークのホームページをご覧ください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~booklove/>

児童文学関係講座のお知らせ

◆子どもの本の学校連続講座 ◆

～ 今年度開催日と講師のお知らせ～

クレヨンハウス東京店で毎月1回(およそ第三週土曜日16:00～)、開催している子どもの本の学校連続講座。行楽のついでにぜひ覗いてみたいものですね。詳しくはクレヨンハウスのホームページをご覧ください。

| | |
|---|-----------------|
| http://www.crayonhouse.co.jp/home/gakko16.html | |
| 5/10 岩合光昭さん | 11/15 今江祥智さん |
| 6/21 小林豊さん | 12/16 いわむらかずおさん |
| 7/19 なかがわひろたかさん ('09)1/17 とよたかずひこさん | |
| 8/16 飯野和好さん | 2/21 伏見操さん |
| 9/20 菅木晃子さん | 3/14 どいかやさん |
| 10/18 石津ちひろさん | 4/18 落合恵子さん |

春のおすすめイベント情報



★池田あきこ原画展

「ダヤンのおいしいゆめ」から20年

会期:開催中～5月6日(火)

場所:酒田市美術館(山形県)

お問い合わせ: TEL 0234-31-0095

★美術館に行こう！

ディックブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

会期:2008年4月19日(土)～5月18日(日)

(4月28日と5月5日を除いた月曜日は休館)

場所:岩手県立美術館(盛岡市)

お問い合わせ:TEL 019-658-1711

★岩手山と賢治

～『春と修羅』がうたうイーハトーブ～

会期:開催中～2009年1月30日(金)

場所:宮沢賢治記念館(岩手県花巻市)

お問い合わせ:TEL 0198-31-2319



【ご質問・情報はこちらへ 福島県立図書館・児童図書研究室】

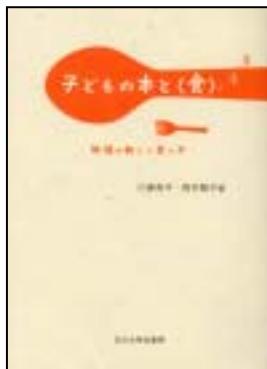
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787

❖ 児童図書研究室からおすすめ！の本

『子どもの本と<食>

—物語の新しい食べ方—』



川端有子・西村醇子／編

玉川大学出版部／発行

2007年 ¥2,835

★J909.3／カ(福島県立図書館請求記号)

※本の表紙の掲載は出版社の許可を得ています

近年、食品の品質・産地表示や消費期限の偽装、また中国産冷凍餃子による中毒事故など、食に対する安全性が問われる事件・事故があとを絶ちません。最近よく耳にするようになった「食育」「自然食」「スローフード」などのキーワードに代表されるように、いままで食文化への関心が高まってきているといえます。福島県立図書館児童図書研究室においても、平成19年度のベストリーダーとして、

『絵本からうまれたおいしいレシピ 1～3』★J596.65/キ

(宝島社／発行 2005年～2006年)

『絵本の中のレシピ』★J596.65/ゴ

(学研／発行 2006年)

『絵本の中のおいしいスープ』★J596/ト

(東条真千子／著 インフォレスト／発行 2006年)

など、絵本や物語の中に登場するごちそうやスープ・お菓子などを、実際に作ってお子さんと一緒に楽しむための本が上位にランクインされました。そんな中で今回紹介したいのが、『子どもの本と<食>—物語の新しい食べ方—』です。ご存じ『ぐりとぐら』のカステラや、『ちびくろさんぽ』のトラのバターを使って焼いたホットケーキなどに代表されるように、子どもの読む絵本や物語には「食べ物」が多く登場することに注目し、なぜ児童文学において「食べ物」が大きく取り扱われ強い印象を残すのかについて多角的に研究し、まとめたのがこの本です。

とりわけ第1章「絵本と幼年文学を食べる」が印象的で、浅木尚美の「『お皿洗いを手伝っていただける？』—絵本に描かれた<食>」では、現代の思春期の子どもの不登校・家庭内暴力等の問題をかかえている家庭では家族が共に食事をしていないという事例などにも触れ、

かこさとしの『だるまちゃんとてんぐちゃん』『だるまちゃんとかみなりちゃん』にみられるような、家族みんなが食卓を囲む何気ない風景こそ、子どもにとって他には代え難い安心感・幸福感につながることであると指摘。また、佐々木由美子の「みんなで食べると楽しいね—幼年文学と<食>の関係」では、幼年文学を大正・昭和初期から年代ごとに検証し、第二次世界大戦や高度経済成長などその時々の歴史的な背景の影響により、幼年文学に登場する「食べ物」や「食べること」の描写に大きな変化があることに着目した、興味深い内容となっています。

各章の合間の「コラム」も味わい深く、とくに川端有子の「雑煮、プリン、ホットケーキの正体」では、C. S. ルイスの『ライオンと魔女』の原作に出てくる「ターキッシュ・ディライト」というトルコ生まれのお菓子が、翻訳者瀬田貞二によって単なる「プリン」に訳されてしまったことを取り上げ、翻訳者自身もおそらく食べたことのない異国の食べ物を、当時の日本の子どもたちにいかにおいしそうに伝えるか、その苦労話などを紹介し、箸休めとして楽しめます。

読み進めていくほどに様々な児童文学を味わうことのできる、おなかいっぱい大満足の一冊です。

～～『子どもの本と<食>』の主な内容紹介～～

第1章 絵本と幼年文学を食べる

「お皿洗いを手伝っていただける？」—絵本に描かれた<食>

浅木尚実

みんなで食べると楽しいね—幼年文学と<食>の関係

佐々木由美子

……コラム 古風なアパートの優雅な食卓

西村醇子

第2章 古典をもう一度味わう

『砂の妖精』における<食>の役割—ファンタジーと現実のはざま

長島憲江

空腹の少女たち、満腹の子どもたち

—『小公女』と『秘密の花園』における<食>の意味

川端有子

ベジタリアンになったドラゴンローズマリー・マーリングのR. Dの場合

山本麻里耶

……コラム 卵の味

西村醇子

……コラム 雑煮・プリン・ホットケーキの正体

川端有子

第3章 児童文学の新しい調理法

魔法使いの食卓と大地に根ざすモモの木—<食>から読む<アース>シリーズ

鈴木宏枝

コンデンスマルクの魔法の力

—M. モーバーゴの物語技法としての<食>

内藤貴子

……コラム イギリス人と魚

西村醇子

【ご質問・情報はこちらへ 福島県立図書館・児童図書研究室】

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787

E-mail kodomo@library.fks.ed.jp